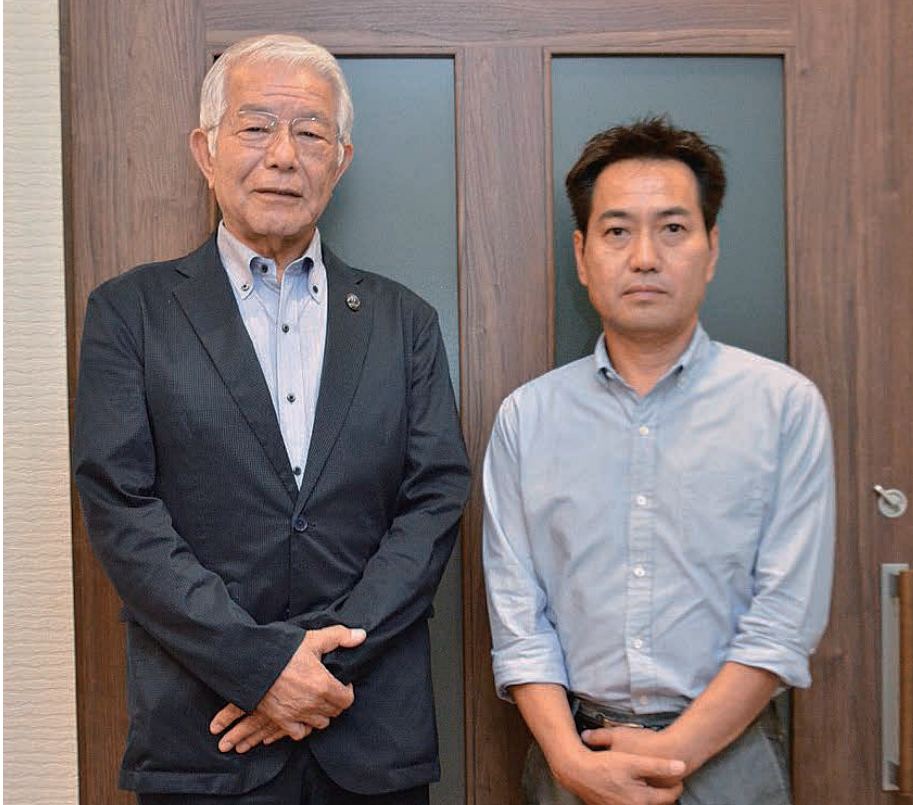


医療法人陽心会・プレゼンツ ヘルシーセッション

高齢者が地域の中で生き生きと生活できるような環境を整えていく。それがわれわれの最終目標です。



石川 誠 × 與儀 清介

いしかわ まこと

よぎ せいかい

医療法人社団 輝生会会長

1946年、埼玉県生まれ。群馬大学医学部を卒業後、同学部脳神経外科に入局。厚生佐久総合病院、虎の門病院、近森リハビリテーション病院等を経て、2002年に医療法人輝生会初台リハビリテーション病院を開設。（一社）回復期リハビリテーション病棟協会相談役など役職多数。

大道中央病院リハビリテーション部副部長

1964年、那覇市生まれ。98年に理学療法士として医療法人陽心会に入職。リハビリテーションの現場を経て現職。

今回は、数々のリハビリテーション関連団体で要職を務め、マスコミ出演も豊富な医療法人社団輝生会の石川誠会長に、大道中央病院リハビリテーション部の與儀清介副部長がインタビューします。医療と福祉の強い連携が欠かせないこれからのリハビリテーションとは。

士・OT（作業療法士）・ST（言語聴覚士）・介護士・ソーシャルワーカー・薬剤師管理栄養士など、チームで取り組む総力戦でなければいけないということ。「リハビリテーションはPTら療法士たちがやるもの」という認識から抜けられない病院がいまだに多いですが、彼らだけでリハビリテーションができるということはまずありません。

與儀私はリハビリテーション部に所属していますが、確かに私たちにできることは限られています。患者さんに関わるのは1日の中でほんの数時間程度にしか過ぎませんから。その他のほとんどの時間は、看護や介護の職員が関わっています。

石川リハビリテーションの中で一番重要な職種は看護と介護です。それが分かっているっていい施設は、いくら療法士が優秀でもすべてがダメです。先ほど総力戦という言葉を使いましたが、これを実行するのはかなり難しい。病院という組織は、縦割り行政のように部をまたいだチームを組むのがとても下手です。ですからまずは組織図から手を入れ、いろんなところに踏み込んで進めなければいけません。大きな総合病院でリハビリテーションが上手くいかないのは、横の連携が取りづらいからなんです。民間の中小の病院など、組織を抜本的に見直すことが比較的容易なところがないと、部をまたいだ総力戦は上手くいきません。

與儀 私たちも病棟全体が一丸となって取り組めるように、日々いろいろと工夫を重ねながら進めているところではあります。石川 そこで問題となるのは、医療業界がい

まだに医師を頂点とする、いわゆる「パートナーリズム」（父権制度にあるということ）です。高齢者を地域全体でケアしようという地域包括ケアの時代には、医療も介護も福祉もすべて同等なチームの一員だという認識が必要になります。それがなかなか浸透しない。相変わらず医療と介護の間に見えない壁が存在しています。その中で、今後キーを握るのがホームヘルパーだと私は思っています。現在、彼らの社会的地位や待遇は決して良いとはいえません。かつて、病院における最下層はナースでした。それが今、ナースといえば社会的地位は高いし、待遇面でもかなり改善されています。いずれはヘルパーもぜひそうなってほしいですね。そういう社会が実現するまで、私たちは頑張らなければいけません。

與儀 介護に関する社会的な認識を、より高めていかなければいけないということですね。

石川 それが実現することで優秀な人材がヘルパーを目指すようになり、それに伴って質も向上するようになります。タマゴとニワトリの関係のようなものですが、ヘルパーたちの技術が上がると患者さんたちがさらにハッピーになり、それで彼らの待遇も良くなると。そのサイクルを上手く循環させなければいけません。この認識を現場のスタッフ全員が持つことはとても大切なことです。

「地域包括ケア」は社会改革

石川 かつて、リハビリテーションは施設の訓練室で行われるものでした。それが病棟にP・T・S・T・O・Tが入りやすくなるように

「急性期だけの医療で本当にいいのか」

與儀 石川先生は都内を中心にリハビリテーションに特化した病院や施設を運営されているほか、さまざまな関連団体で要職に就いておられます。2000年4月に制度化された「回復期リハビリテーション病棟」の生みの親ともいわれていますが、まずはこれまでの歩みをお聞かせ願えますか。

石川 私は群馬大学医学部を卒業後、附属病院の脳神経外科に入局しました。当時は交通事故が多発していた。交通大戦争といわれた時代で、脳神経外科はそれこそ「ネコの手も借りたい」ほど多忙を極めていました。ところが、必死に治療することで多くの患者の命は救うことができて、それに比例するように寝たきりで人生を過ごさなければいけない人も増えてくる。私は「急性期だけの医療で本当にいいのか」と疑問を持ち、その状況をどうにか改善したいという強い思いでリハビリテーションの道に進んだわけです。当時、リハビリテーションは医師の仕事ではないという風潮もありましたので、周りからは風変わりな医者と思われていました（笑）。

り、病棟レベルで行うようになったわけです。そして訪問・通所リハなど、退院後もリハビリテーションができるようになったと。そのような経過を経て「これからは地域全体でリハビリテーションを行いますよ」と。先ほど話した地域包括ケアですね。つまり地域全体で高齢者を受け入れ、その人が地域の中で生き生きと生活できるような環境を整えていく。それがわれわれの最終目標です。與儀さんが勤めている陽心会にはさまざまな形態の在宅施設が数多くありますが、それが社会の中でしっかりと機能するのなら、施設の中にいようが外にいようがその地域全体がハッピーということですね。

與儀 私どもの法人は「住み慣れたまちで、いつまでも楽しくすごしたい」を標榜しており、その実現に向けて職員一同邁進しているところです。私たちの活動で地域全体がハッピーになるのであれば、とてもやりがいのある取り組みですね。

石川 これからのリハビリテーションは、かつての老人施設のようなイメージとは違います。言うなれば社会改革です。地域包括ケアシステムと一口に言ってもそれぞれの地域で事情が違いますから、それはシステムではなく地域オリジナルのネットワークといえます。私たちはその実現に向けてもっと汗をかいていきたいと思っています。

與儀 私たちもそうありたいと思っています。本日はご多忙の中、大変ありがとうございます。

石川 こちらこそありがとうございます。



医療法人陽心会



社会福祉法人 陽風会

理事長 高良 健

有限会社ヘルスサポート

取締役 高良 まき子

小規模多機能型ホーム 三原
那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027

訪問看護ステーション 陽心会
那覇市安里64-9-1F TEL.098-860-1270

メディカルプラザ大道中央
那覇市字大道123 TEL.098-866-0007(代)

一般内科部門 TEL.098-886-0115

循環器部門 TEL.098-886-5141

糖尿病部門 TEL.098-886-0115

人工透析部門 TEL.098-886-5151

検診部門 TEL.098-886-5678

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

グループホーム たかまーみの家
那覇市字大道94-3 TEL.098-587-0081

小規模多機能型ホーム 大道
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018

グループホーム 大道が丘
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036

特別養護老人ホーム 前島
那覇市前島82-18-17 TEL.098-894-8039

那覇市末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510

那覇市豊川老人福祉センター
那覇市豊川2-1-11 TEL.098-853-1139

那覇市辻老人館の家
那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580

有料老人ホーム 三原の家
那覇市三原1-26-40 TEL.098-832-5981

有料老人ホーム 牧志
那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331

有料老人ホーム 西町
那覇市西1-20-19 TEL.098-863-7884

デイサービスセンター リバーサイド
那覇市安里1-18-3F TEL.098-862-1501

有料老人ホーム 健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

デイサービスセンター 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122

有料老人ホーム 松風邸
那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557

有料老人ホーム 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087

有料老人ホーム 若狭別館
那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320

小規模多機能型ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

グループホーム 若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

在宅総合ケアセンター 大道
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

那覇市地域包括支援センター かんてく
那覇市読海町1-68 TEL.098-852-0777

有料老人ホーム 大道中央
那覇市字大道127 TEL.098-886-0061